

まえがき

青森県の経済情勢は、日本銀行青森支店の発表によると「県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から、サービス消費を中心に、引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直しの動きも一服している。また、最終需要動向をみると、個人消費は、持ち直しの動きが一服しており、乗用車販売は、供給制約の影響から減少している」としております。

令和3年を振り返りますと、前年度に続き、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でありましたが、ワクチン接種が進められ、マスク着用、アルコール消毒といった新しい生活様式も定着する中、年後半には感染者数も減少に転じ、経済の再開に向けた取り組みが着実に進められて参りました。

このような中、令和3年度の検査登録申請等に関する状況につきまして、登録車と軽自動車を合わせた全国の新車販売台数は、前年度比9.5%減の4,215,826台となり、3年連続で減少しました。

また、国土交通省は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートの後継となる全国共通デザインの全国版図柄入りナンバーを発表し、寄付金を交通改善や観光振興への支援として活用する取り組みが進められております。

令和3年度、県内の新車台数状況は、登録車が前年度比5.8%減の26,776台、軽自動車は、前年度比12.6%減の19,572台と、共に4年連続で前年度実績を下回りました。この結果、二輪を除く新車総台数は、前年度比8.8%減の46,348台となり、4年連続で前年度実績を下回りました。

また、中古車台数状況は、登録車が前年度比5.8%減の40,868台と4年連続で前年度実績を下回り、軽自動車は、前年度比5.6%減の43,430台と3年連続で前年度実績を下回りました。中古車総台数では、前年度比5.7%減の84,298台となり、4年連続で前年度実績を下回りました。

さらに、自動車保有車両数は、令和4年3月末現在1,001,224台で前年同期比2,129台の減少となっており、3月末で100万台を超えたのは9年連続となりました。一世帯当たりの保有車両数は1.68台と前年同様となっております。また、ハイブリッド車の保有車両数は85,592台、前年同期比で6,772台増加しており、登録車両数(小型二輪車を除く)517,381台に対し16.54%の占有率となっております。

この資料は、東北運輸局青森運輸支局のご協力を得て、当支部及び当会議所のホームページに掲載しております。この資料が、関係官庁及び関連業界などの各専門分野で分析・研究され車社会を考える一助になれば幸甚に存じます。

令和4年10月

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会青森県支部
一般社団法人 青森県自動車会議所